

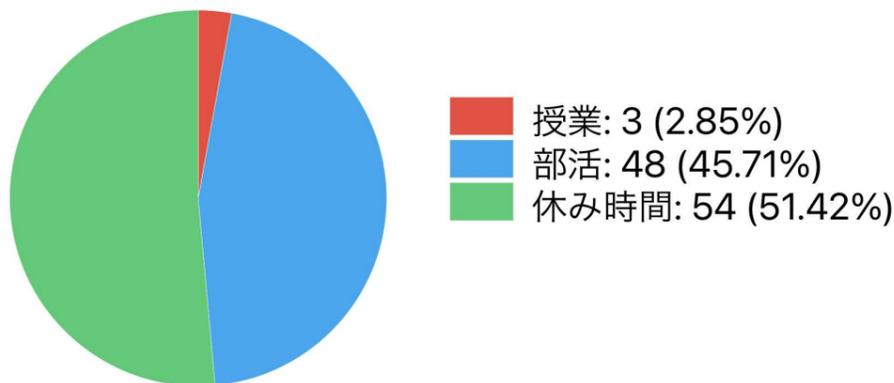
世界一に行きたい学校

仙台第三高等学校 E5班

背景

高校生は授業よりも部活動や休み時間の方が生き生きと活動していると感じた

Q. 学校生活で楽しいと思うこと(アンケート:高校生105名)



- 予想通り、部活動や休み時間という回答が多い
- 授業の改善が必要

考察

①アンケートの結果より...

基礎の充実と答えた人が多いものの、どの要素も求められている

②また、進んだ教育を行うフィンランドでは...

表現力・論理力・批判的思考力・対話力・発想力の5つの力が重要視されている (参考文献より)

→アンケートで得た4つの要素を授業に取り入れると、活発な授業が展開できるのではないかと

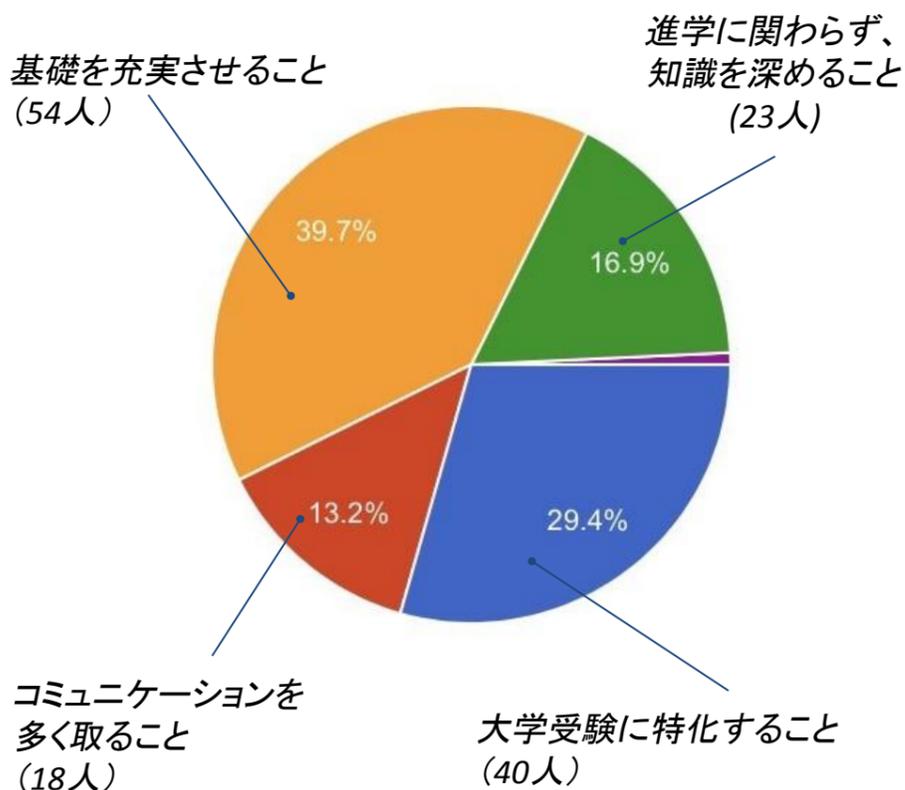
目的

学生の本業は勉強で、学校生活の大部分は授業

↓
授業の中にも楽しさを見つけ、学校生活をより充実したものにするため。

調査・実験の結果 (対象:高校生136人)

Q.あなたが授業に1番求めることはなんですか？



まとめ・提案

授業の導入(進学に関わらず、知識を深める)

基礎

コミュニケーション

→表現力、対話力

受験対策(問題演習)

→論理力、批判的思考力

例) 数学の授業の場合

導入: 数学者の紹介、社会にどのように用いられているのか

基礎: 公式、問題の解き方

コミュニケーション: 問題の教え合い、別解を話し合う (→発想力)

受験対策: 入試問題の実施

- ・問題数を徐々に増やす
- ・わからなくなったら挙手

→過度な遅れを作らない



生徒の要望を取り入れた授業

- 生き生きと取り組むことができる
- 学校に行きたくなる

参考文献

住岡 武「大学から見た高校の授業」<https://dlisv03.media.osaka-cu.ac.jp/contents/osakacu/kiyo/DBn0060206.pdf>
「フィンランドの教育の特徴は？」<https://education-career.jp/magazine/data-report/2019/finland-edu/>
「南山大学機関リポジトリ」<https://nanzan-u.repo.nii.ac.jp/>